



Recommended calling QRGs: 7.026/7.028, 10.118/10.138, 14.058, 18.085, 21.058/21.138, 24.918, 28.058/28.158

FEA Net: 7.026 MHz 2300UTC on Saturdays, 14.054 MHz 0800UTC on Sundays

Newsletter Editor, FEA Net Manager: Nao JO3HPM (jo3hpm@fists-ea.org)

Membership Secretary: Jean JL3SIK (join-fea@fists-ea.org)

Web administrator, QSL Manager, Newsletter E-mail Distributor: Harry JL3AMK (webadmin@fists-ea.org)

FISTS members can receive the morsEAsia via e-mail. Please email the web admin with your FISTS#.

Other members of administration: Sugi JK7UST & Manabu JE1RZR

<http://www.feacw.net/> or <http://www.fists-ea.org/> (Secondary)

## 日本語付録

日本語で投稿された原稿は編集部で英語へ意識して掲載しました。また英語と日本語両方で投稿して下さった方もいました。ここでは日本語原稿を掲載します。

### 「一つの短点」 ITO JR7OEF #15022

数か月前 カナダから手紙が届いた。3D2EF あての QSL だった。QSO の日付が 2007 年になっている。私がフィジーから運用したのは 1992 年のこと。他にこの日付で QSL の請求が届いていないので誰かのイタズラではないだろう。このカナダの局は誰と QSO したのか考えてみた。モードが CW になっていたので恐らく 3D2ER ではないだろうかと思った。R は .-. F は .-. 短点一つ違う。3D2ER は私の友人で滞在中大変お世話になった。Rig が壊れてオンエア出来なくなったと聞いて日本から代わりのもを送った経緯がある。QSL にメールアドレスが書いてあったのであなたが QSO したのは 3D2ER だと思いとメールした。数日後 恐らくそうかも知れない 3D2 とは初めての QSO だったので彼に手紙を出す と返信があった。

### 「よき仲間との出会い」 NAKA JM6FMW #5545

私が 10 歳のころ父親がポータブルラジオを買ってくれました。不運なことにそのラジオには SW バンドがあり、SSB、CW を聴くことができました。ある日何気なくダイヤルを回しているとモールス信号が聞こえてきました。それまではモールス信号の存在は知っていましたが、実際にトーンを聴くことは初めての体験で、自分がまるで外国の情報部員になったような気がしていました。それから中学にあがるころ、友人がアマチュア無線のライセンスをとるため国家試験をうけるというので、便乗し電話級を受けに行ったのですが見事に玉砕しました。そのころモールスコードも覚えようとしたのですが ABC の三文字だけ覚えて、あとは興味がスポーツの方に向いてしまいました

大人になり山登りを始めました。遭難対策にハンディ機が必要になり 4 アマライセンスを取得。それから子供のころの憧れであった HF での運用を SSB で始めました。しかし 10W+DP ではなかなか思うように電波は飛ん

でくれません。

そこでモールスを始めることを一大決心し、コードを覚えていきました。ちょうどそのころパソコン通信の BBS で「モールスの部屋」というのがあり、さまざまな OM さんと知り合いになれたこともモチベーションアップにつながりました。その後無事 3 アマに合格、続いて 2 アマにも合格しました(現在は 1 アマ)。

しかし実際の QRV となると怖くてなかなかオンエアすることができませんでした。

ある日キーイングの練習をしようと、21MHZ で CQ を打ってみました。バンドは静まり返っているのに、応答はないと確信していました。ところが何度目かの CQ の後、予想に関してコールバックがあるではないですか。それも VE7 という聴いたことのないプリフィックス！心臓がドキドキしながら、CW 教則本に書いてあるラバースタンプ QSO 例を見ながら交信しました。なんとか RST 交換はできたもの、内容は全く覚えていません。

あとでカナダの局だとわかり、感動がこみ上げてきたのを覚えています。

それからは、CW の面白さに目覚め、リグからマイクを外しパドルだけをつなぎ、毎日オンエアしていました。折しもサイクル 23 が立ち上がり毎朝、出勤前に 15M10M でアメリカ大陸と夕方にはヨーロッパと交信する日々が続き、ますますハムにのめり込みました。

ちょうどそのこと 15m であった K5IUO BUD から「FISTS クラブに入らないか」という誘いがありました。何度か E メールで彼とやり取りして FISTS クラブに入会しました。21.058, 28.058 でコールするとたくさんの仲間が呼んでくれました。初心者なのにゆっくりとしたキーイングで、FISTS NR や名前、QTH などを打ってくれました。時には私のつたない英語でのチャットにもつきあってくれ、お互いのハム歴や家族のことなども国境を超え話すことができました。彼ら(彼女ら)の親切さや紳士的な振る舞いにこの場を借りて感謝いたします。とくに私にこのすばらしい FISTS CLUB を紹介してくれた K5IUO BUD に。

転職して 8 年間無線から遠ざかっていましたが、最近 CW の世界に帰ってきました。今私は長崎の中心部のマンション 8F に住んでいるので QRP と hidden antenna の組み合わせです。この貧弱なシステムでは、私の電波は太平洋を越えることは難しいでしょう。今は日本国内の交

信さえうれしい日々が続いています。幸運なことに、FISTS EA が立ち上がり、メンバーが私のよき友人となっています。おりしもサイクル 24 が立ち上がろうとしており、これからが楽しみです。またみなさんとお空でお会いできることを楽しみにしています。

## “MY CW LIFE (2)” MASA JJ1IZW #15026

### 【CW デビューしたもの】

CW デビューもしたので、今度は独立して交信してみようと 7MHz にて CQ 局に対し、呼んで 所謂「ラバースタンプ QSO」をしてみました。受信ができずメロメロでその焦りは送信にも表れミス連発で 送受共 大変というか交信にならない感じで一方的に 交信を終了させた形になってしまい相手の方にも迷惑だろうという思いから、良い表現が無いのですが“怖くて”その後 CW での QRV ができなくなってしまいました。

そこで、色々アドバイスを受けようと「A1 Club」に入会した。そして、クラブの諸先輩方から ML (メーリングリスト) にて色々な情報を得る事ができ、まずは、私と同じような CW デビューはしたものの後が続かないという思いで苦しんでいる人が居ないか?そして初心者同士でスケジュール QSO をすればお互いやり易いのではないか?という思いで ML にて初心者同士 QSO しませんか?という思いで ML にて初心者の方やデビューから 1 年程度経った方等からやりましょうという私信メール等頂き何度かラバースタンプによる CW QSO に付き合ってもらい、段々慣れてはくるようになりましたが、QSO では無い CD 等での受信は OK なのですが実 QSO では中々符号が取りきれず、挫折しそうになっていました。

### 【克服】

「A1 Club」には毎週土曜日の早朝に HF 帯にて OAM (オン・エア・ミーティング) と称して全国的に 1~3 時間位 CW にてロールコールみたいな事を行っております。内容は、毎週違う Key 局が居てその方が CQ を出されて会員局 (会員外でも勿論 OK) 1 局 1 分程度のご挨拶 QSO を行うというものです。これは、非常に私にとって便利な特訓材料となりました。良く OAM では、自分がピックアップされて自分の QSO が終わると聞き流すか、QSY もしくは 無線機の電源を OFF にしてしまう方が多いようですが、私は、これを受信練習に利用させて頂きました。やり方は、最初から最後まで全て、自分が Key 局になったつもりで、Key 局を呼ぶ人のコールサイン・名前・RST 等を筆記にて一生懸命受信していました。取れない部分は?で書く。さらには、この OAM を録音して、何度も後から復習できるようにもしました。録音があると「?」の部分が何回でも聞けて自分の Weak Point も分かり、次の練習の材料にもなります。

私の場合は、兎に角、この OAM を Key 局になったつもりで必死に受信して筆記する。さらに録音して復習する。この 2 点が非常に受信スキルを上げることになったと振り返ります。さらには、早朝の HF 帯でやられているので、HF 帯独特の激変するコンディション把握や QSB

への慣れ、さらには、パイルになった時の上手い対処方法等も勉強させて頂きました。半年位経ってからだと思いますが、徐々に私は、受信にも度胸が付きラバースタンプ QSO も特に問題なく出来るようになっていき、所謂 599BK では無い DX 交信も少しはできるようになってきました。

次に、私はある時決断しました。「A1 Club」で行われる OAM の Key 局は CW のベテランの方ばかりですが、2ヶ月に一回程度の割合で、「お試し KEY 局」をしませんか?というのがあり、Key 局は受信能力は勿論のことパイルアップの処理等非常にスキルを必要とします。これを試しに運用してみませんか?というものです。「お試し」なので通常の Key 局をやられている全国の方々が常にワッチされていて、いざやってみたもののやっぱり NG だと思ったら途中で止めても OK で通常の Key 局と交代できるというなんとも優しいプログラムなのです。私はこれに挑戦し、さらにスキルを上げようというより「度胸を付ける」ということをしたかったのです。CW 運用をしてみて、CW はスポーツと似ている部分がありスキルだけでは NG なこともあり精神面で強くなると、安定してできるという事があることに気がついていたので、2006 年 10 月 7 日 CW デビューから約 1 年後にお試し KEY 局をやってみました。結果は。。。どうにか 3 時間も格闘しましたがどうにか 1 人で全てできました。「落ち着けば、何とかなる」という事は大きな収穫でした。落ち着いて、分からなかったら、分からない部分の再送を頼むとか、パイルでゴチャゴチャに呼ばれてコールサインが取れない時は 1 文字でも良いから、取れた部分だけのコールサインを指定して再送をお願いするとか基本的な部分なのですが、焦っていると難しいものになってしまいます。そうすると、送信もおかしくなってしまうので、兎に角焦らず、ゆっくりでも良いから「1 つ 1 つ対処していけば道は開ける。」そして私でもどうにかできるという自信が付きました。それからは、私は、一人で移動運用もできるようになり CW での QRV にのめり込んでいったのでした。

### 【工作】

CW の場合、比較的簡単な構成で無線機ができますし、KIT 品等も結構沢山出ています。自分で作った無線機で QRV する楽しさも CW だと簡単です。私は、ここ数年で海外 KIT 品の SST40、PFR-3、KX1 の無線機、そして HF Projects の HF Packer35W リニアアンプ等の工作もしてきました。また、KIT 品は改造も容易にできるものもありますので自分流に改造というのも楽しいひと時の過ごし方です。

去年、私は SST40 を大改造しました。PVC と SUPER VXO 及び水晶の切替えスイッチの採用で 7.001 ~ 7.027MHz と 7.101 ~ 7.125MHz まで連続可変。さらに AF アンプと小型スピーカを内蔵、2cH メモリー付きエレキの装備、最後に難関だった単 4 電池 8 本を本体に入れ込み充電池を入れ、外部電源接続時には充電もできるようにしました。また外出先で充電池容量が無くなった場合、工具無しで乾電池に工具無しで交換できるよう

にネジをローレット目付きの M ネジに換装し雌ネジも M ネジにタップを切り直してあります。よって、SST40 本体とパドルとアンテナがあれば直ぐに移動でも QRV できるようにしました。非常にコンパクトなので出張時カバンに入れ出張先での仕事が終わった夜にホテルから QRV して各地の方と QSO するなんていうこともしました。たった 2W+コンパクトアンテナでも CW ならば結構全国各地と出来るのです。

#### 【その後】

ラバースタンプ QSO レベルでの QSO や移動運用ができるようになると思えば楽しく CW 運用をしているのですが、ある時から少し物足りなくなりました。2ND 3rd QSO の場合、ラバースタンプ QSO だと、送信する内容が無くなってしまふ訳です。なので、フォーンのように、色々世間話みたいなことを CW でもやってみたくてきます。所謂「CW ラグチュー」ですね。沢山の方は和文にてそれを実現させて楽しんでいるのは知っていますが、和文だと国内のみになってしまい、DX には通用しません。USA 同士の QSO を聞いていると、ラバースタンプ QSO というのはあまりされていなく、CW でもラグチューみたいに楽しんでいるようです。まあ、USA の人がラグチューをしているのは、日本で言えば母国語なので和文交信みたいなことなので当たり前といえは当たり前なのですが、さらに EU の方々も母国語ではないのに簡単な CW ラグチューレベルをできる方が多いようです。

なので、私も簡単で良いのでこの欧文により CW ラグチュー QSO をやってみたくて現在進行形で、勉強中です。まずは、自己紹介、今日の出来事、家族の話題。この位できると結構話題が広がり、QSO の“ネタ”も沢山でき 交信内容にも幅が広がり面白くなりますが、複数の壁がばっちり待ち受けています。まず、50W にペランダアンテナだと、落ちていた DX ラグチューは中々難しい。50W でも飛ぶには飛びますが、やはりアンテナの短縮率が大きい物だと現在の HF コンディションでは不足。私は、これを切り抜ける為にまずは、上級資格を取って最低 200W の POWER と 14MHz での QRV が必要と認識し 1 アマを取得と思いましたがまずは、確実にと思ひ 2 アマの勉強を約 3ヶ月間行ない 2008 年の夏に 2 アマを取得して、固定局免許で 200W を得ました。さらにペランダアンテナを止め 妻を説得の上、ルーフトワーですが、約 14mH の 7~28MHz の 7-BAND HF 用アンテナも昨年セットアップしました。

そして次に英語の壁。この壁ですが、私にはこれを超えるのは簡単ではありません。FISTS EAST ASIA (FEA) や JBA という欧文 CW ラグチューを目標とする団体があり加入して細々と活動はしていますが、この壁は私の現在の環境と無線に対する時間も掛け方からすると崩せないように思っているのです。ここはゆっくりとちょこちょこ壁に小さい穴を開けて覗いたりするレベルで楽しんでいます。いずれ、この小さい穴も数が増えてくると少しは、DX の CW ラグチューらしい形になってくるものと信じて現在運用しています。焦ってはいません。ゆっ

くり時間を掛けて楽しんでいます。

私の最初の DX CW ラグチュー(もどき)は、簡単な自己紹介の後、逃げるように「I am CW beginner es my English is vy poor. So Pse QRS es send me easy words.」と打鍵しました。これでも年齢や職業そして状況等の意思疎通は簡単ですが出来て、相手充分理解してくれたようでゆっくり簡単なやり取りの後、上手く Final にしてくれました。このレベルでも私は、今のところ充分楽しいです。

そうそう、国内欧文 QSO でも私は交信のお尻に私の年齢を打鍵する時があります。何も反応無い事もありますが、時には、相手方がご自分の年齢を打ち返してきたりして、さらに詳しい住所を聞かれたりしてラバースタンプ QSO からラグチュー(もどき)に移行することも少ないですがあります。こういうのは、楽しいですね。ただ長くなる QSO は疲れるのでやはり 20~30 分位が限度かもしれません。

#### 【想うこと】

私が 34 年弱の無線をやってきて想うことは、

1、永く無線という趣味を続けるには、焦らず、ゆっくりで良い少しずつスキルが上がるようなことをすること。そうしなと直ぐ飽きてしまい無線を辞めてしまう方を多く見かける。

2、これはどの趣味も同じですが、練習はダラダラやっても効果が薄く、何か今日の目標を持って行うと効果絶大。ここ重要ですね。(ダラダラ練習は、あまり上達しない)さらに、メリハリをつけるのも重要。やる時はやる。時間がくれば違うこともちゃんとやる。

3、無線は、色々なカテゴリーで楽しめる。例えば、DX、JCC/JCG 集め移動運用、自作や KIT 品製作、上級資格取得、コンテスト、ラグチュー、アイボール、和文 QSO、etc... 数えきれない。まずは色々やってみるのも無線という趣味の土台ががっちりしてくるので非常に良いことだと思ひ永く楽しめる。

4、私の短い経験ですが、CW の場合、自分が取れるスピードよりかなり速く(40WPM:約 200 文字/分)にして練習し、今までの自分の限界のスピードに戻すとそれが非常に遅く感じ、段々速いスピードでも取れるようになってくるので QRQQ(速い速度での打鍵)練習が非常に良いと思う。

5、これまた、CW の話ですが、CW において受信は非常に重要なファクターであり、まずは受信できないと始まらないのですが、これは練習において常にそうかというところでもなく、ある程度のレベルまでくると単語を理解する時に 1 文字 1 文字のスペルを聞き取るのではなく音の塊で単語を認識するようになりますが、そうなると送信も重要なファクターになり、音の塊で送信できない単語は受信も難しかったりすることもあります。なので、サイドトーンを聞きながらの送信練習も非常に有効になってくる時がきっとあると思います。

6、会話というのは、時にはユーモアも必要な?特に CW ではちょっとしたユーモアを入れてみると面白い。まじめ過ぎるのも面白くないですね。私は QRP 好きなので

50W 程度でも QRO に思えるので 時々知り合いには  
50W 程度でも QRP でないことを伝える為に  
JJ1IZW/QRO とって打ってみたり。シャイな性格なので?

JJ1IZW/shy と伝えたこともありました。Hi  
さて、兎に角、言えることは、「少し愛して、永く愛し  
て」と Rome was not built in a day. ですね。